

教育目標 「自ら きたえる」

意欲をもって学び続ける力・自分を豊かに表現する力・良好な人間関係を築く力



12/10(火) 八桜班で取り組む「関小フェスティバル」



新潟市立関屋小学校 学校だより

しおない

令和六年十二月二十四日

第364号

子供の主体性を大切に

校長 川又 健司

ずいぶん寒くなってきたある日、ひまわりクラブに行っている子供たちから、毛糸の手編みのマフラーをプレゼントしてもらいました（校長と教頭）。編むのが流行っているように聞いていましたが、プレゼントと聞いてびっくり。翌日から早速、朝玄関前に立つときに付けています。中に「あつ、私もそれ一段編んだよ」と言う一年生もいて、編んでくれた子供たちのやさしさに、心から感謝しています（嬉しくてつい書いてしまいました）。

さて、子供たちに人気の児童会行事、関小フェスティバルが、十日（火）開かれました。八桜班（縦割り班）ごとに輪投げ、ボール入れ、脱出ゲームなど、楽しいイベントのお店を開き、子供たちは前半と後半で、店番とお客に分かれて楽しみます。私も全部のお店を回りましたが、どの店もよく工夫や準備がされていて、楽しむことができました。

この関小フェスティバルですが、昨年度までは夏休み前に実施していました。しかし、年間の行事予定を見直す中で、今年度は冬休み前の実施となりました。

また、コロナ禍前までは、三年生以上がクラスごとに店を開き、そこ

へ一、二年生、それに三年生以上の半数（店番でない人たち）がお客として回るという方式でした。それを、少し前から八桜班ごとのお店に変えました。それだと当然、一、二年生も、単なるお客様ではなく、店の計画や準備・運営に携わる側になります。私はそれはとても大切で、よいことだと思っています。

縦割り班ですので、リーダーとオロワールという違いはあります。しかし、下の学年なりに「これがやりたい」「こうした方が良い」と意見を出せます。また、学年にあった役割を分担し、それぞれが責任をもって取り組むことになります。当日の様子を見ていると、それが一人一人のより生き生きとした姿につながっていたように感じました。

関小フェスティバルは、特別活動（略して「特活」）の一つですが、関屋小学校は伝統的にこの特活に力を入れてきた学校です。研究会を開いていた時代もありました。

特活は子供たちの主体性を大切に、様々な人との関わりを学ぶ意義のある活動です。今後もよりよい在り方を考えながら、続けていきたいと思っています。……皆様一年間ありがとうございました。よいお年を！

【関小フェスティバル R6.12.10】

特活主任 教諭 小野 愛佳

八桜タイムのお店準備では、班ごとに1枚の紙に頭を突き合わせて「どうしたらいいかな?」「その絵上手だね、もっとこうしたらよさそう!」とみんなで考えを出し合ったり、認め合ったりする姿が印象的でした。関小フェスティバルの当日は、八桜班で前半、後半に分かれて、8つのお店を回ります。今年は、今まで校内放送やビデオ放送でしていたオープニングなどを、運営委員が中心となって体育館で行い、とても盛り上がりました。また、昨年よりもお店を回る時間が長かったため、全部のお店を回れた人も多かったようです。1人1人が自分の決まった役割を一所懸命に果たすすてきな姿、お店を回って思い切り楽しむ笑顔が見られる1日となりました。



八桜班 お店 一覧

- 八重 アニマルわなげ
- 桜子 障害物競走
- かすみ丸 紙ひこうきとばし
- 玉三郎 ボール入れ
- 紅桜 脱出ゲーム
- 宝桜 めいろ射的
- 美花 勝負師
- きり風 ファイブボンバー

6年サッカー教室

12月12日(木)、キャリア教育の一環として、PTAの三役から御紹介いただき、アルビレックス新潟レディースの選手・スタッフから、サッカーを教えていただきました。



1月の予定



- 9日(木) 冬休み明け初日
全校朝会
3時間授業
- 10日(金) 給食開始
4時間授業
- 14日(火) 平常授業開始
避難訓練
- 15日(水) 市小研

- 16日(木) 書き初め大会
- 24日(金) 1年氷上スポーツ体験
- 27日(月) 家庭学習強調週間・
健康生活チャレンジ週間(1/31まで)
給食週間(1/31まで)
- 29日(水) 学習参観・学級懇談